

神奈川工業技術開発大賞

片桐エンジ、神津精機に

県は十七日、県内の中堅・中小企業による技術・製

品を対象にした第二十五回神奈川工業技術開発大賞(主催・県、神奈川新聞社)の受賞技術・製品を発表した。二十三件の応募から、大賞二件、地域環境技術賞二件、奨励賞二件が選ばれた。

受賞技術・製品の紹介
17面に

大賞に輝いたのは、次世代の半導体や太陽電池などへの応用が期待される高性能性薄膜を作製する装置を開発した片桐エンジン(横濱市鶴見区)と、試料の高精度な測定を可能としたモーターコントロールを開発した神津精機(川崎市麻生区)の二社。対象は約三年内に開発・商品化された技術で、学識経験者ら各分野の専門家十二人で構成する選考委員会が、産業の発展や国民生活向上への寄与などを基準に選考した。

(牧野 昌智)